

2007年3月期 第1四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社
2006年8月4日

▶ 将来予測・インサイダー取引について

2

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北アメリカ、ヨーロッパおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争的環境
- ◆ 為替相場の変動、特に日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル及びイギリス・ポンドの相場変動
- ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率および向上と設備投資を実施するトヨタの能力
- ◆ トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更で、特に貿易、環境保全、自動車排ガス、燃費効率、安全性の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または将来の訴訟やその他の法的手続きを含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制及び政府政策の変更など
- ◆ トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- ◆ タイムリーに新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
- ◆ トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況

以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意:

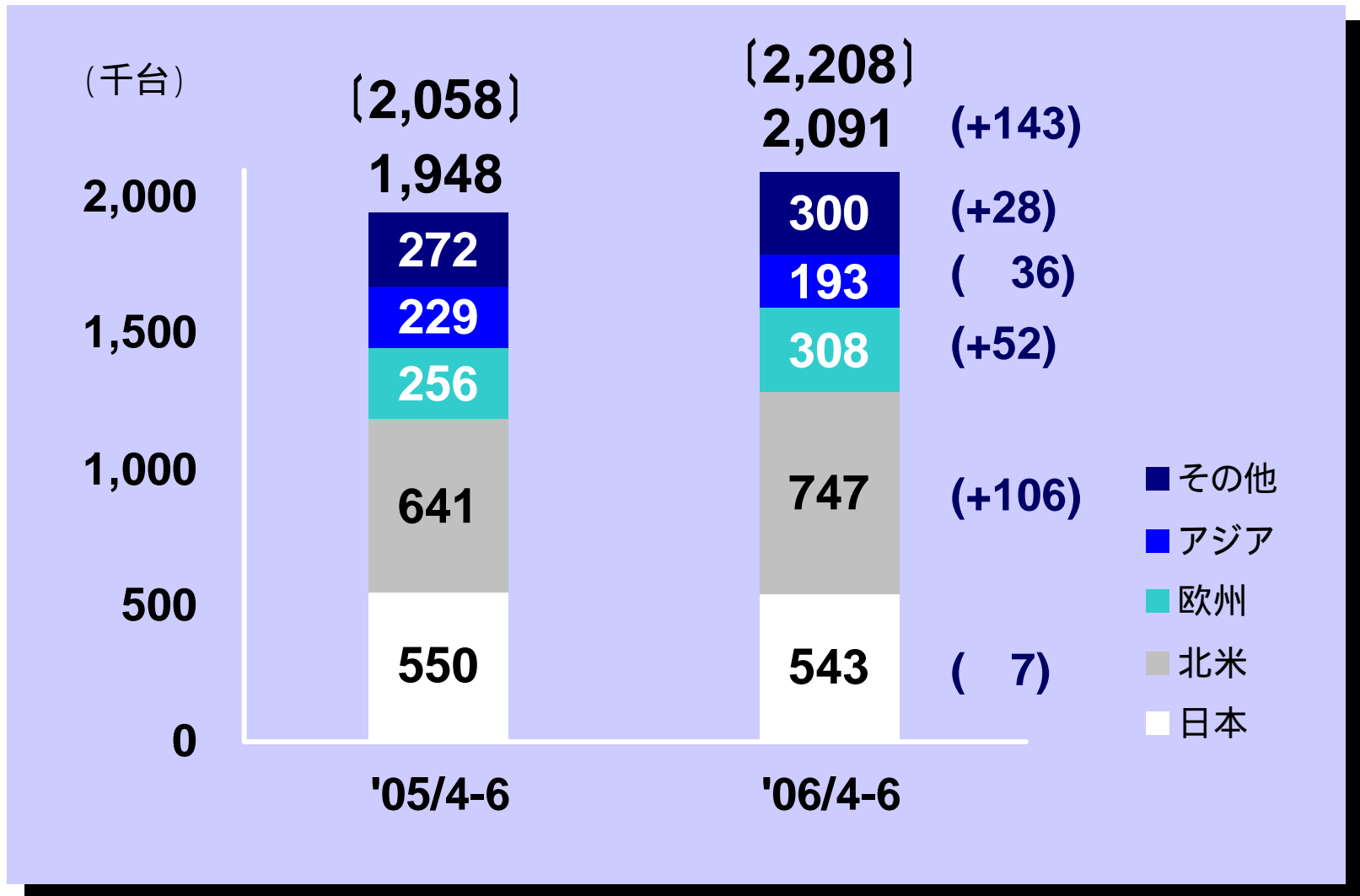
企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(証券取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびED-NET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

TOYOTA

常務役員

伊地知 隆彦

▶ 連結販売台数



()内はトヨタ/レクサス、ダイハツ、日野ブランドの総小売販売台数

▶ 連結決算要約

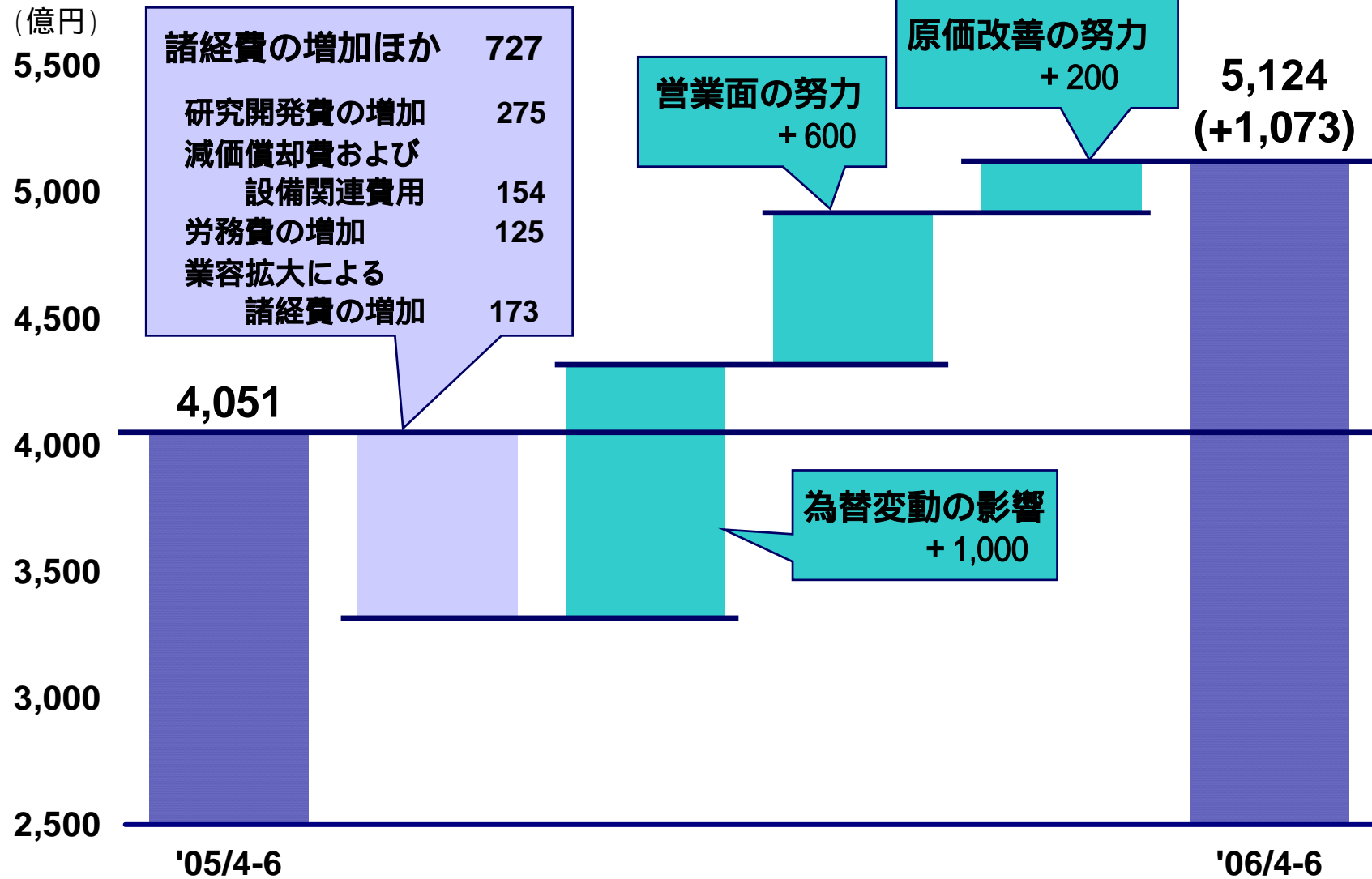
5

(単位:億円、%)

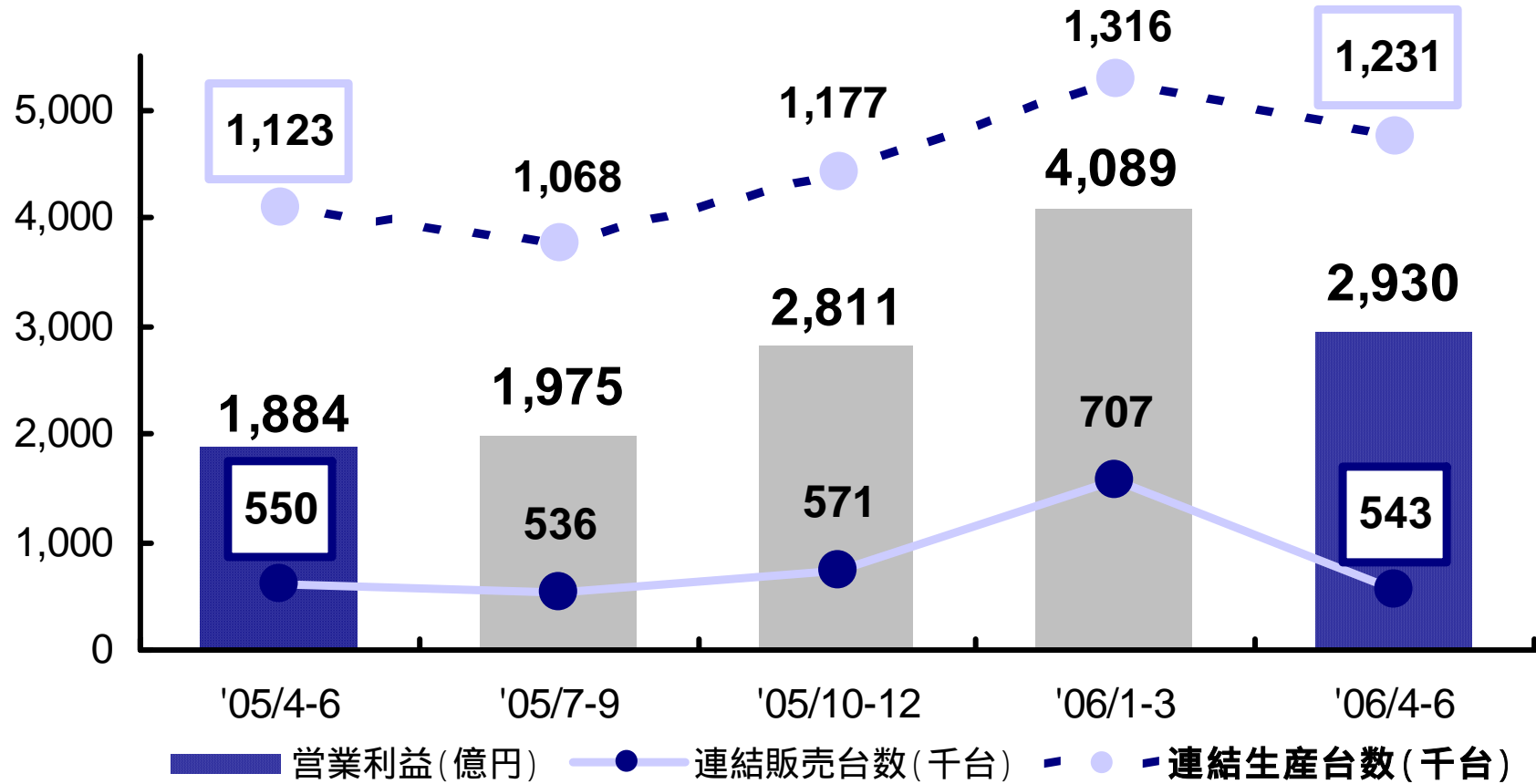
	当第1四半期 (‘06/4-6)	前年同期 (‘05/4-6)	増 減	
売上高	56,381	49,817	6,564	13.2%
営業利益	5,124	4,051	1,073	26.5%
税金等調整前 当期純利益	5,546	4,218	1,328	31.5%
当期純利益	3,715	2,668	1,047	39.2%
為替レート	ドル	115円	108円	7円の円安
	ユーロ	144円	135円	9円の円安

TOYOTA

▶ 連結営業利益増減要因

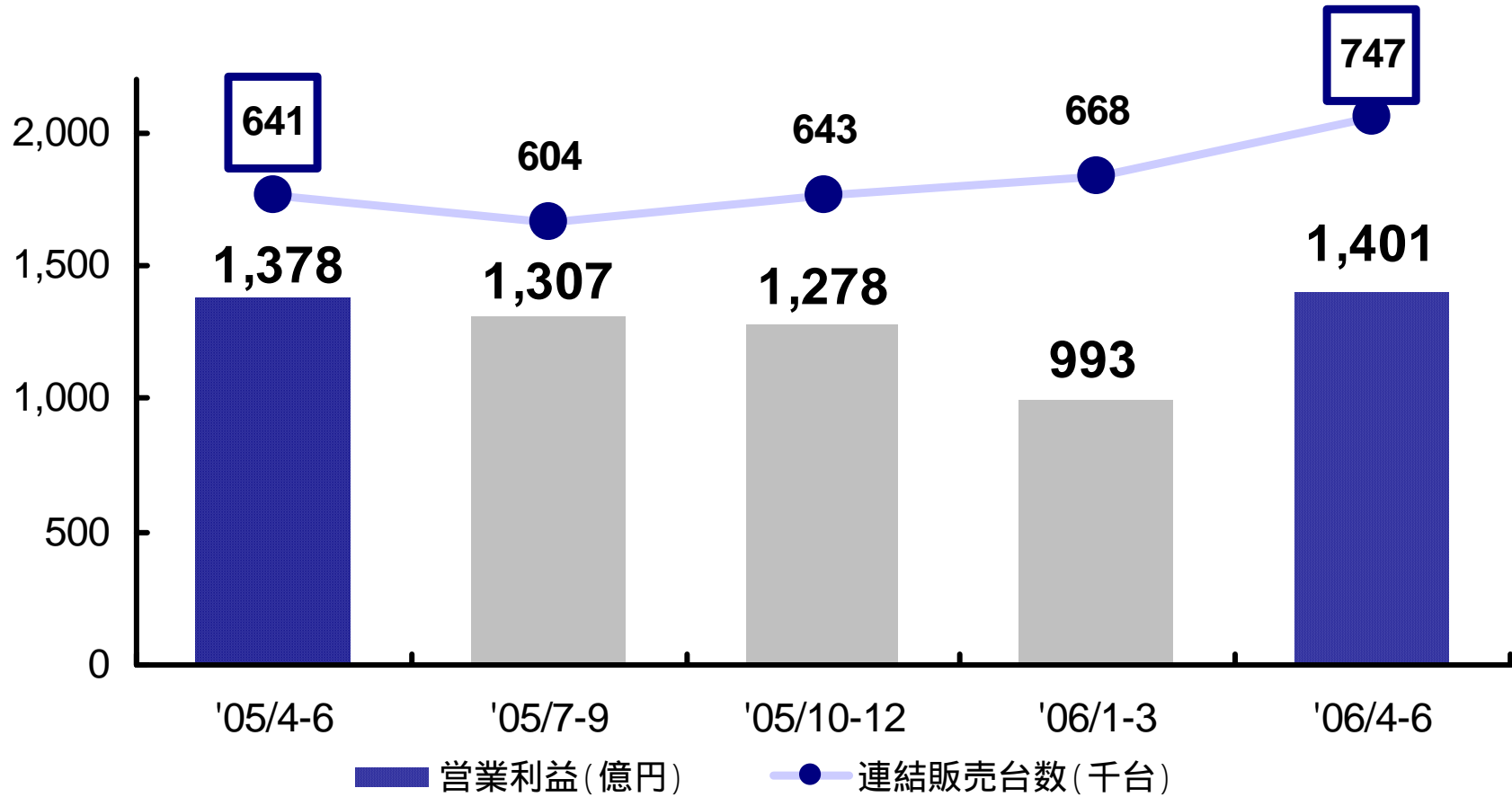


所在地別営業利益：日本



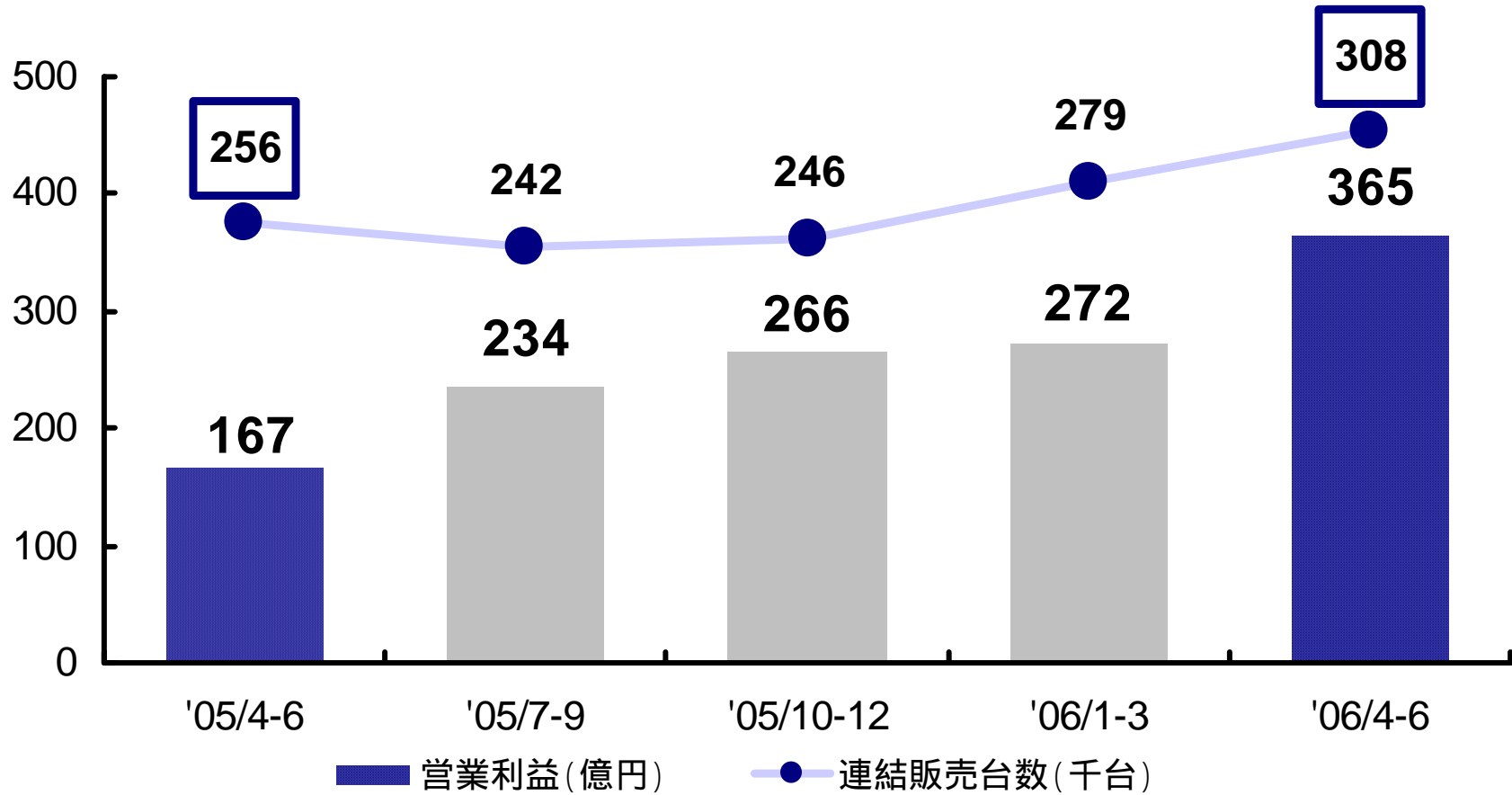
・海外の旺盛な需要に、国内増産で対応。
・国内販売は、除軽市場が縮小する中で、シェアが1.5%上昇。

所在地別営業利益：北米



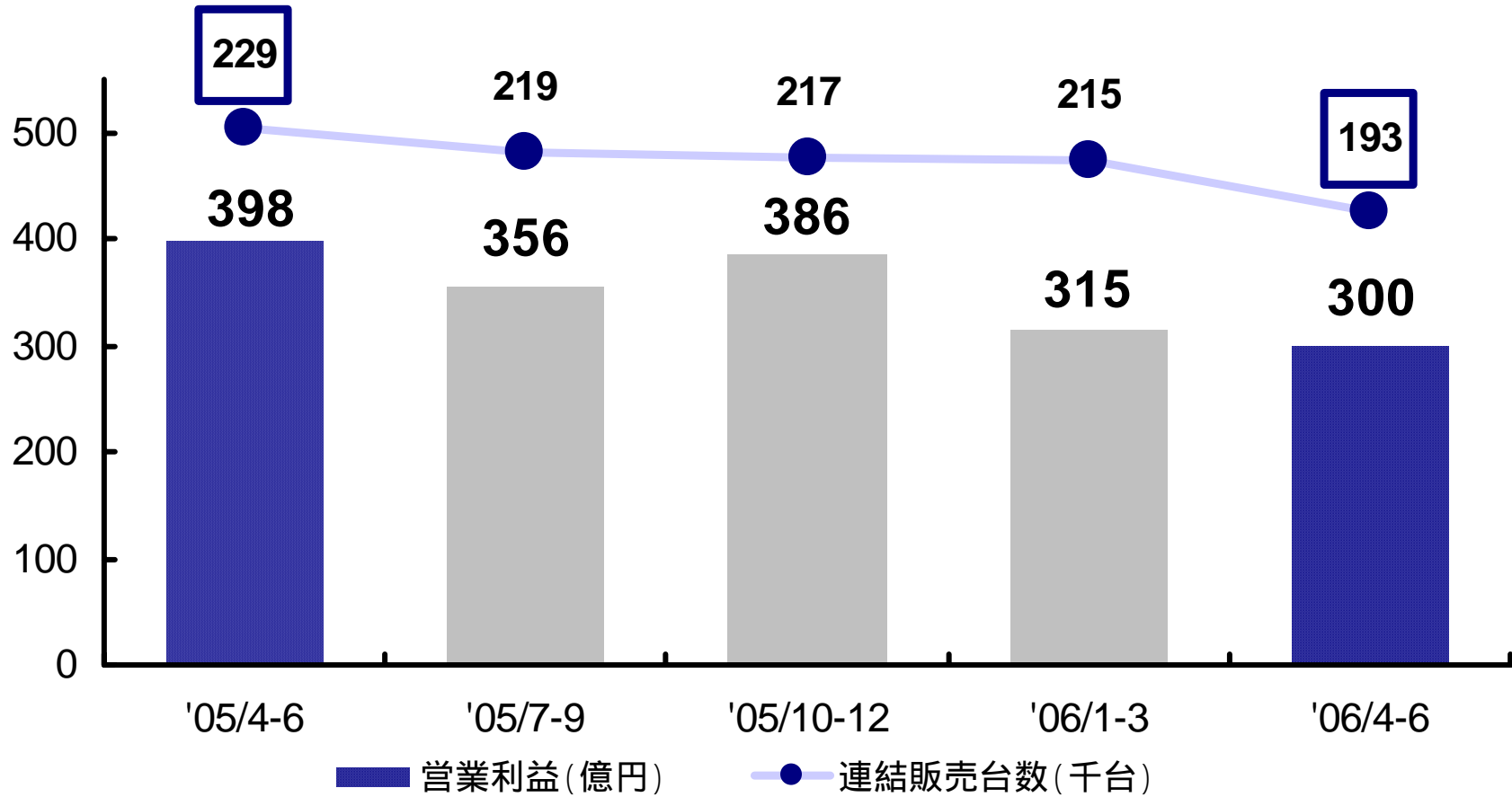
・販売台数+106千台と大幅に増加。
新型車とコンパクト車を中心に、販売が好調。

所在地別営業利益：欧州



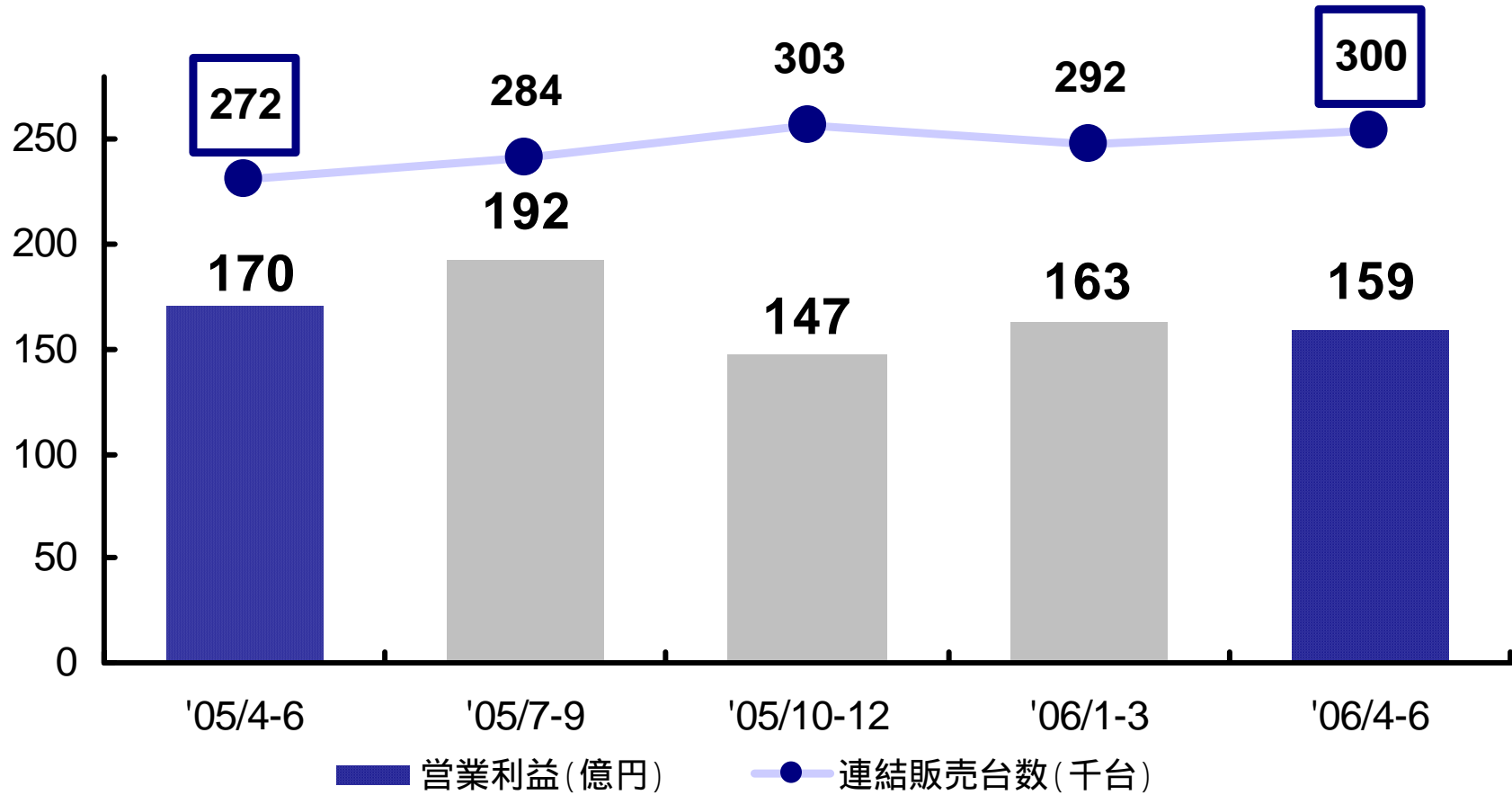
・ヤリス・RAV4など新型車の販売好調により、大幅増益。

所在地別営業利益: アジア



・インドネシア・台湾での市場悪化により、販売台数が減少。
・営業利益は300億円と、高いレベルを確保。

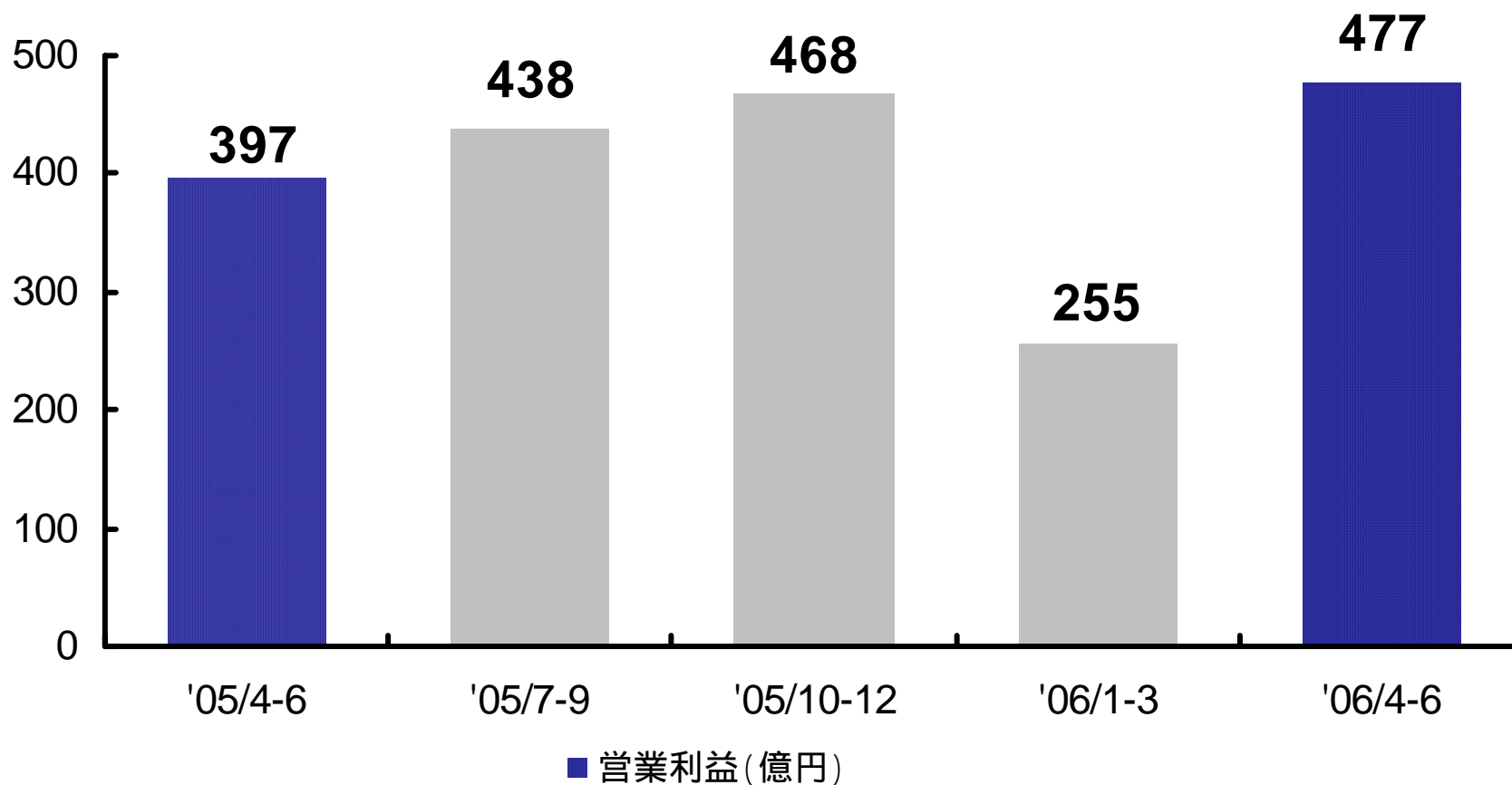
所在地別営業利益：その他地域



・IMVを中心に、引き続き販売は好調。

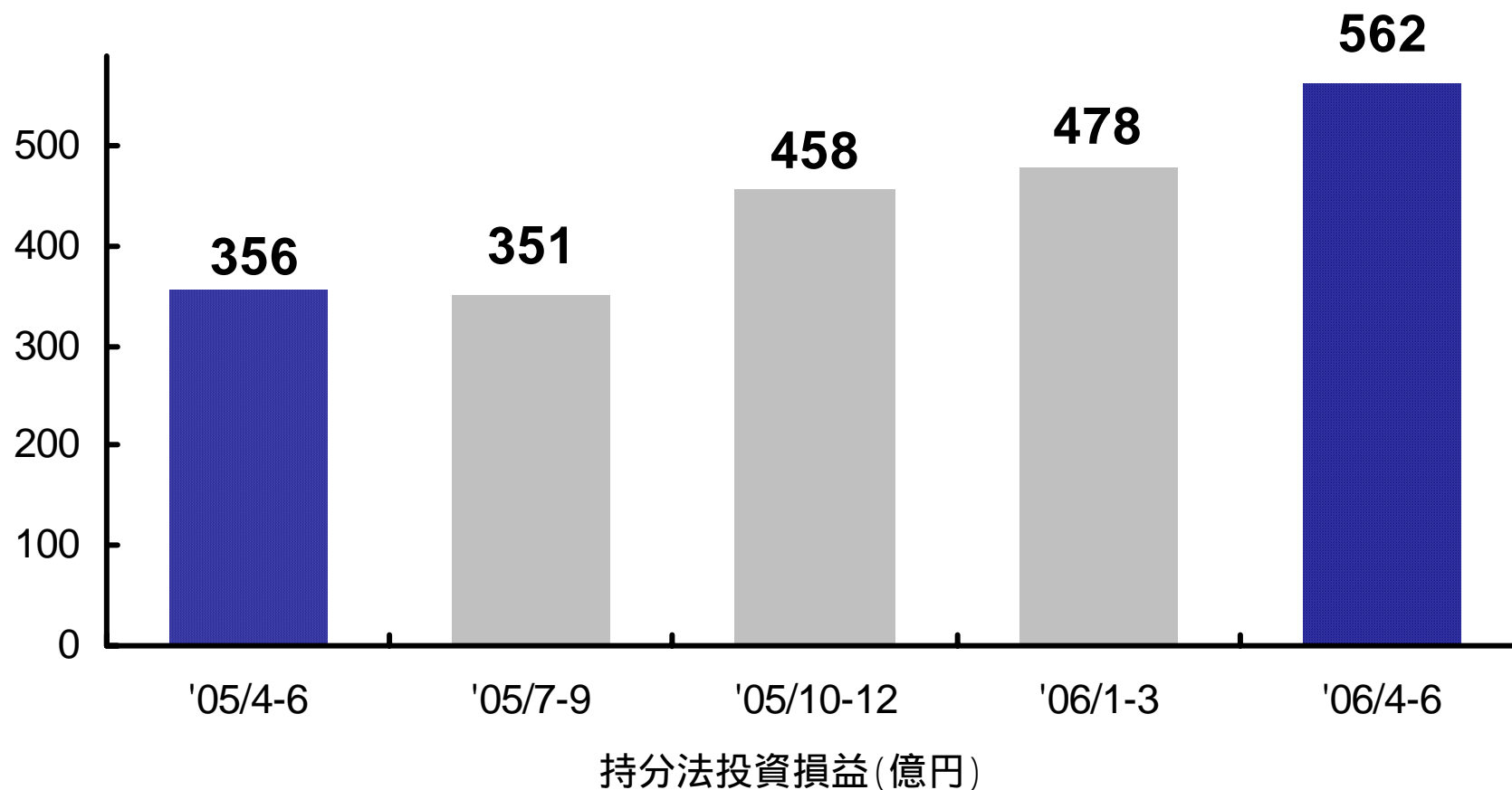
事業別セグメント：金融

12



- ・融資残高の順調な伸びにより、収益は拡大。
- ・日・米の販売金融子会社の金利スワップ評価損益の影響 : +66億円

持分法投資損益



・国内グループ会社、中国合弁事業体を中心に好調を継続。

▶ 单独決算要約 (日本基準)

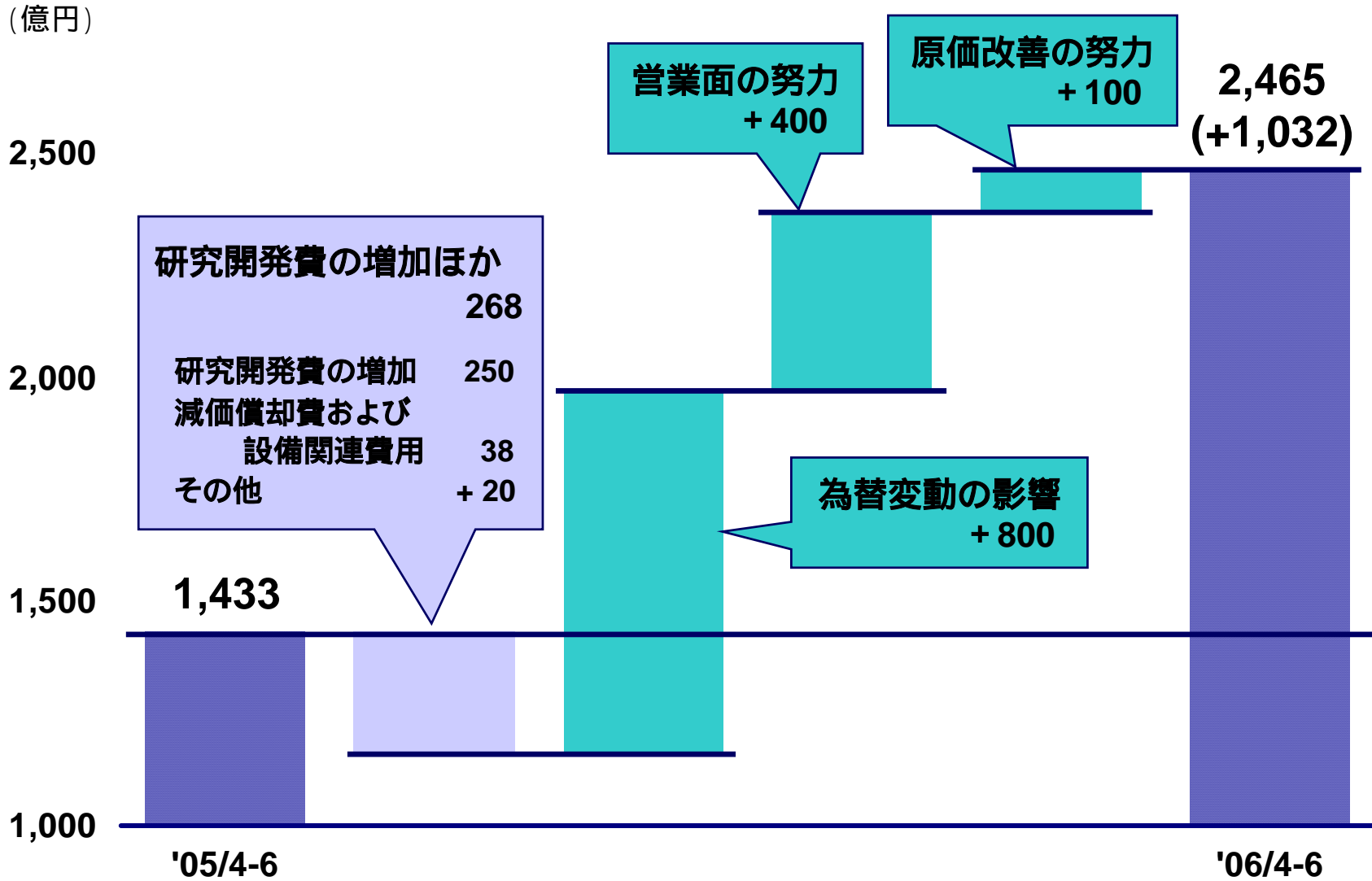
14

(単位: 億円、%)

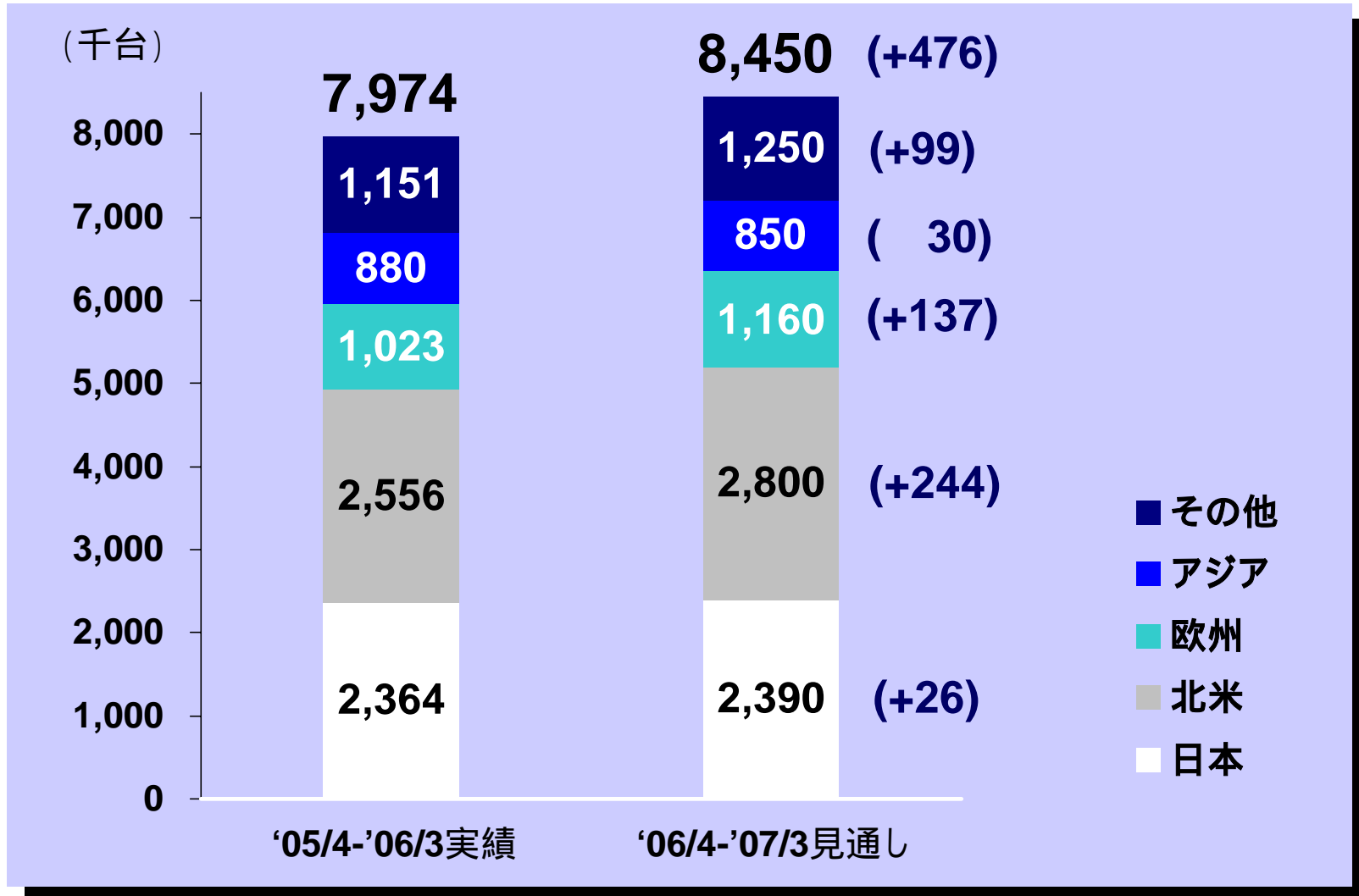
	当第1四半期 (‘06/4-6)	前年同期 (‘05/4-6)	増 減	
売上高	26,985	23,457	3,528	15.0%
営業利益	2,465	1,433	1,032	72.1%
経常利益	3,999	2,179	1,820	83.6%
当期純利益	2,776	1,527	1,249	81.8%

TOYOTA

単独営業利益増減要因



通期見通し：連結販売台数



()内は'06/3実績からの増減

▶ 通期見通し: 連結決算

17

‘07/3期業績見通し

■ 売上高 **223,000億円**

■ 営業利益 **19,000億円**

■ 当期純利益 **13,100億円**

前提為替レート
ドル 110円
ユーロ 135円

▶ 通期見通し：設備投資、減価償却費、研究開発費 18

(単位:億円)

	設備投資	減価償却費	研究開発費
連結 計	15,500 (+ 212)	9,300 (+386)	9,200 (+1,074)
日本	8,500 (- 593)	5,900 (+211)	
北米	3,300 (+ 597)	1,650 (- 1)	
欧州	1,300 (- 5)	800 (+ 41)	
アジア	1,350 (+ 31)	550 (+ 70)	
その他	1,050 (+ 182)	400 (+ 65)	

()内は'06/3実績からの増減

TOYOTA

▶ 通期見通し: 単独決算

19

‘07/3期業績見通し

■ 売上高 **110,000億円**

■ 営業利益 **8,800億円**

■ 当期純利益 **8,500億円**

▶ 通期見通し：台数等（トヨタ・レクサス）

20

		当期見通し ('06/4-'07/3)	前期実績 ('05/4-'06/3)
生産	国内	4,100 千台	3,863 千台
	海外	4,060	3,731
	合計	8,160	7,594
国内販売		1,780	1,769
輸出		2,350	2,126
海外現地販売		6,250	5,664
住宅		5,000 戸	4,693 戸

TOYOTA

2007年3月期 第1四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社
2006年8月4日